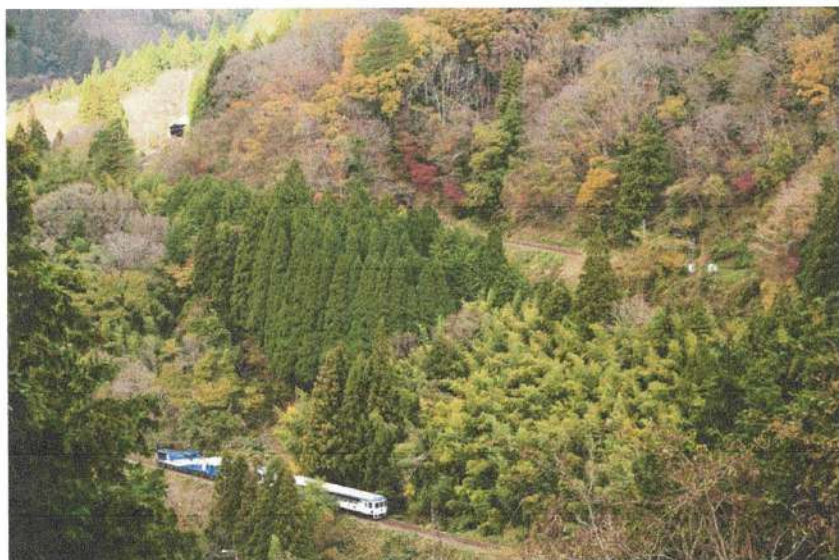


県北どらくろあ

第94号 2024年1月1日（毎月1日発行）



きすき 木次線ストロール④ 奥出雲おろち号

「木次線のシンボルの観光列車」

26年間の運行が終了」

今回の木次線ストロール、八川駅をレポートするつもりだったが、取材予定日に雪が降って断念。さて、代わりに何を書くかで悩んだが、昨年11月23日で運行が終了した「奥出雲おろち号」のこと

ても、行動に移すことはなかった。余談だが、わたしは食べ物運が良くない。グループ旅行なら別だが、ひとり旅をしていて、美味しいものを食べたという思い出が少ない。理由はわかってる。お客の少ない店を選ぶからだ。地元の人からも敬遠されるような店では、味は期待できない。こんな性格だから、赤字ローカル線との相性はぴったり……、これでは本末転倒である（苦笑）。

前回の出雲坂根駅のレポートの時に、待合室で声をかけた旅行者のことを書いたが、その方からメールをいただいた。こんなミニコミ誌を出していますと、本誌の11月号を渡しておいたのだが、律義に連絡してくれたのである。

出雲坂根駅から三井野原駅に向かう旧道の途中で再会、路肩の林の中から垂れたロープをつたって登ると、スイッチバックする列車の撮影スポットがある。と教えてもらった。そのとき撮った写真がメールに添付されていた。撮影者の名前を明示することで、本誌への掲載の許可を得た。

上の写真が、八川駅から出雲坂根駅に向かって走る奥出雲おろち号。三段式スイッチバックの一段目になる。撮影者は、横浜市在住の梅津良典氏。初冬の山間を走るおろち号の雄姿が俯瞰（ふかん）できる。真ん中辺りに、出雲



発行：どら書房
〒727-0012
庄原市中本町 2-1-10

誌面デザイン: ROUTE183
協賛：九日市愛好会